

長谷川 望 牧師

- *主イエスが最後の晩餐のときになされた弟子たちのための祈り。主イエスが言われる「弟子たち」とは、父なる神に選ばれて主イエスにゆだねられ、み言葉を守り、イエスが父から出て世に遣わされたことを知っている者である。また、彼らは父と子のものとなった人たちである。(ヨハネ17:6~8)
- *「聖なる父よ、わたしに下さったあなたの御名によって、彼らをお守りください。」(17:11) 15節にあるように、この世から取り去られないように、悪いものから、すなわち、悪魔から守られるようにという祈りである。彼らとともにいたとき、わたしはあなたが下さったあなたの御名によって、彼らを守りました。わたしが彼らを保ったので、彼らのうちだれも滅びた者はなく、ただ滅びの子が滅びました。それは、聖書が成就するためでした。(17:12) 主イエスが地上に居られる間は、イエスが彼らを守られたので、滅びることはなかった。ただ一人だけの例外は「滅びの子」イスカリオテのユダであった。それは旧約聖書の預言(恐らく詩篇41:9)が成就するためであると言われる。イエスが地上からいなくなったあとは、助け主「御霊」が来て弟子たちの中に住み、弟子たちを守られるようにと祈りであった。
- *真理によって彼らを聖別してください。あなたのみことばは真理です。あなたがわたしを世に遣わされたように、わたしも彼らを世に遣わしました。(17:17~18)「聖別」とは、世から切り離されて神のものとなり、神のため、世のために働くものとされることである。イエスを救い主と信じた者は、聖別されて世に遣わされたものなのである。世には様々な誘惑、敵対、困難があるが、それらと戦うために私たちが遣わされた主は、私たちをきよめ、武器として聖霊を与えられているのである。その愛と恵みに感謝して使命を果たすことができるように歩んでいきたい。